

平成28年度 第1回 恵庭市中小企業振興審議会 会議録（要旨）

- 日 時 平成28年8月24日（水） 10:00～11:30
- 場 所 恵庭市役所 301, 302会議室
- 出席者 委員) 行澤委員、黒田委員、細川委員、小松委員、掃部委員、伊藤委員、  
竹田委員（代理：木村氏）、坂下委員、武藤委員、北口委員、高原委員  
市) 佐藤経済部長、高澤経済部次長、江川商工労働課長、  
小路商工労働課主幹、藤井商工労働課主査、高橋商工労働課主査、  
吉成商工労働課主査、桑原商工労働課主任、浅野商工労働課主事

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 自己紹介（新任委員に対し委嘱状を交付）

4. 報告

報告(1)の中小企業振興協議会での検討結果について

事務局より、中小企業振興協議会での検討結果について説明

以下、意見交換

委員 基本戦略2、4の中でえびす南瓜で売り出して行くあるが、もう少し発信する方法について色々検討した方が良い。恵庭の特産品が南瓜だということが浸透していない。

加工食品で発信するのであれば、飲食店でのB級グルメで話題になってマスコミにも出る機会もあるのではないか。

委員 短期的だとか中長期的とるが、これは短期的は1年程度、中長期は3年から5年という理解でよろしいか。

事務局 よい。

会長 2ページの基本戦略の地域循環型経済の確立と産業間連携強化の部分だが、恵庭市は比較的オープンな風土があり商店街も市外との取引が多い

ところもある。

地元の間で取引することがどのように市民にとっても業者にとってもメリットがあるのか、経済の循環の事などを市が中心になり市民、事業者にPRを進めて行くことが必要ではないか。

それと、短期的な視点で駅まちプラザの件だが、朝市などのアイデアは取り入れて行って欲しい。

委員 数年前にそのような周知をしていたのではないか。

事務局 条例制定した時にしている。漫画を使ったリーフレットでPRした。

委員 そのような取組みをするとよい。

事務局 基本戦略の3と基本戦略の5のところにも意見をお願いしたい。  
基本戦略3であげているふるさと納税はいま農業や子育て事業などに使っている。経済振興として何に使っていくかというのが難しい。  
それから基本戦略の5では、来月、えにわん産業祭という恵庭市内の企業が約50のブースを出して恵庭市の企業を知って下さいとPRする場を設けたりもするが、恵庭市内の企業を知らないと言えないと地元で就職に繋がらないと言う部分もある。そういった事を先ず市内にPRするという事業アイデアがでてくる。

事務局 事業アイデアの短期的、中長期的なものは、すぐにアイデアが執行出来るものとそうで無いものがあると思っている。それについては計画の5年間の目標の中間年の平成30年で見直しを行うこととなっている。毎年、見直しや進行管理を行っていく。

委員 広報ツールと言うことでユーチューブやフェイスブック等のSNSの活用は良いと思う。これは若い方の発想で行なったほうがよい。

委員 人材確保の関係では、中学生の企業訪問バスツアーを石狩振興局と恵庭市で実施している。アンケート結果も良かった。中学生は、地元の企業を知らない。これによって市外の企業に人材が流出してしまう。企業側もインターンシップ等の受け入れ体制があるといい。企業の取組みも大切である。

- 会長 企業版ふるさと納税の話は出ていないが検討して欲しい。  
ふるさと納税の使い道はどのようなものになっているのか。
- 事務局 それぞれの所管でやっており経済部では把握していないが、寄附の際に寄附者が指定し、意向に沿って使わせて頂いている。
- 委員 事業アイデアを施策に反映させるのか。
- 事務局 事業としてやれるものを検討の素材として使っていきたい。
- 委員 基本戦略5に係って、創業者に対する助成制度は既にやっているものはあるのか。
- 事務局 融資については既存のものがある。起業に特化した部分では起業塾という起業したい人に対するセミナーや補助金の助成はある。  
50万を上限として店舗取得費、家賃、修繕、広告費を対象としている。  
5件の枠に対して2件の申請があり、その他に問い合わせもある。
- 会長 特に人材の問題は、恵庭には大学、専門学校、高校があり、若者は多いことから、恵庭市全体の魅力を向上させて、就職などにつなげてほしい。  
また、エビス南瓜を使ったPRやユーチューブを含めた事業の周知など進めて欲しい。
- (その他異議無し)

## 報告(2) 恵庭市中小企業振興基本条例の改正(案)について

事務局より、恵庭市中小企業振興基本条例の改正(案)について説明  
以下、意見交換

- 会長 委員の人数が14名となっているが、多数決の関係で奇数の方がよいのではないか。
- 事務局 この下部組織は決を採るような組織ではなく、あくまでも意見を出す部会という位置づけなので人数にはこだわっていなかった。15名というのは協議会を2班に分けて進めており、その分け方の関係で偶数だった。

委員 協議する場なら奇数にこだわらなくても問題ないと思う。

事務局 現員が14名であるので、奇数にするのであれば、人数を減らしたくないので15名になる。15名以内という規定にする方向で考えたい。

会長 この協議会は今年4回開催されているが、委員の出席状況はどうか。

事務局 各回、半分以上の委員が出席している。

会長 出来るだけ出席可能な団体や人をお願いして議論が出来ればと思っているので、人選を考えて頂きたい。

### 報告（3）中小企業経営改善調査について

事務局より、中小企業経営改善調査について説明  
以下、意見交換

委員 同様の調査は、以前にも実施しているか。

事務局 計画を策定する際にアンケート調査を行っている。  
今回は、その時と同じ質問も組み入れており、比較ができるようにしている。今回は前回のアンケートにその経営改善と言う部分を追加している。

委員 前回は、いつ行っているか。

事務局 前回は、平成26年度に行っている。

委員 前回の調査の回収率はどの程度か。

事務局 前回は、40パーセントとなっている。今回は更に踏み込んだような調査になっており、記名式であるので回収率が悪くなる可能性は高い。

委員 平成26年度のアンケートはどのような支援に活用されたのか。

事務局 中小企業振興計画を策定する際に盛り込んでいる。

委員 質問が多いので書きづらい印象がある。回収率に影響するのではないか。

事務局 ご指摘のとおりですが、精査した中で必要最小限にした。

委員 調査項目的には、この様な内容になると思っている。不必要な項目はないと思われるので仕方がない。

事務局 中間年（平成30年頃）にも調査をするので、その際に工夫をしたい。

#### 報告（4）その他

事務局より、今後のスケジュールの説明、創業支援事業計画の説明  
以下、意見交換

委員 創業支援事業計画のスケジュールにおいて、審議会へのフィードバックあるがスケジュールとは関係ないのか。

事務局 これについては、会議を開催しないで書面をお示ししたいというふうに考えているのでスケジュールには入れていない。

#### 5. その他

委員 新任なので、恵庭市の中小企業ではこういった業種が多いのか聞きたい。

事務局 まず、産業構造としては、3次産業が84%、2次産業が15%、1次産業が1%の構成比となっている。事業所別にみると3次産業の卸売・小売業が441社あり、23%程度で最も多い。そのほか、宿泊業・飲食サービス業や生活関連サービス業・娯楽業が多い。また、2次産業では、建設業や製造業が多い。  
また、工業団地が市内に6箇所ある。  
飲食系の製造業が多いのが特徴である。

委員 総合戦略の委員もやっており、その中で中小企業支援事業の起業家支援の目標件数が5件となっており、少ないように感じている。

事務局 市が把握する実績から、大体年間5件ということにしている。

委員 金融機関が直接対応して、把握している起業された方は、私の対応分だけで2年半で18件あった。  
私が把握している分では恵庭市では医療系がここ2、3年で開業している方が多い。  
この案件は殆んど借入れが付いている。  
それ以外の業種の人達をもう少し取り込めたら良いのではないかと思っている。  
ぜひ目標数値を高く持って頂ければ、我々も金融協会として全面的にバックアップ出来るのではないかと考えている。

事務局 PRについて力を入れていきたい。  
また、開業数についても先ほどの創業支援事業計画の中の連絡調整会議において情報共有し、情報の把握に努めたい。

委員 私からは情報提供と言うことで、中小企業等経営強化法の説明をさせて頂きたい。  
【資料に基づき説明】

(閉会)